

課題名

ヤノネカイガラムシの天敵

成果の要約

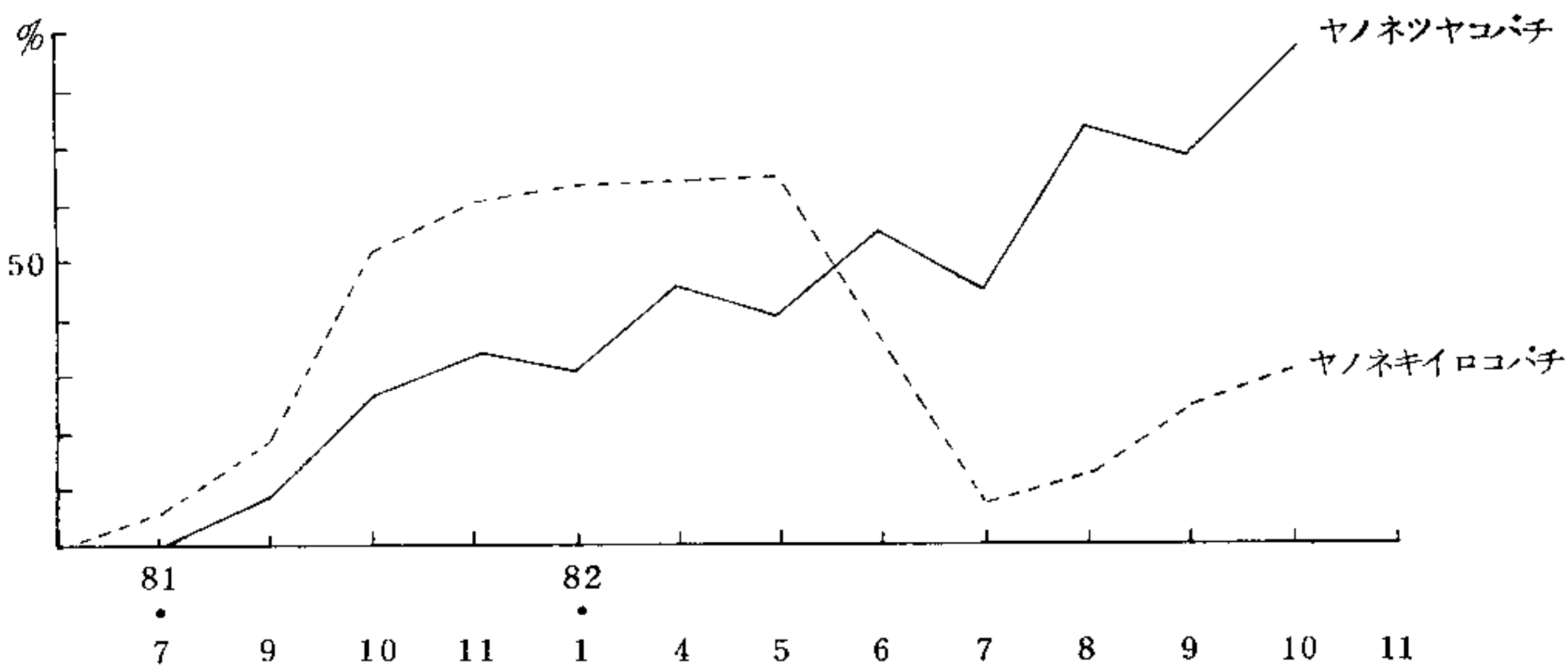
中国から導入された寄生蜂ヤノネキイロコバチとヤノネツヤコバチは長崎県内で越冬、定着し、ヤノネカイガラムシの密度抑制効果が高いことが確認された。

2種の寄生蜂の放飼地と方法及び結果

放飼地点	方法	放飼虫	結果	時期
長崎県口之津町果試	ポット植	A・P	◎	1981.6
“ 現地(田口氏)	“	A・P	◎	・
大村市(2ヶ所)	寄生枝	A・P	◎	1981.9
鹿児島県垂水市	“	A・P	◎	・
長崎県小浜町北村現地	“	A・P	◎	・
鹿児島県大島郡	成虫	A・P	○	1982.4
福岡市箱崎	“	A	○	1982.5
山口県平生町(2ヶ所)	“	A	○	1982.6.8
熊本県三角町	ポット植	A	○	1982.7
宇土市	成虫	A	○	“
松橋町	“	A・P	○	“
長崎県口之津町現地	“	A	○	“
山口県平生町	寄生果実	A	○	1982.11

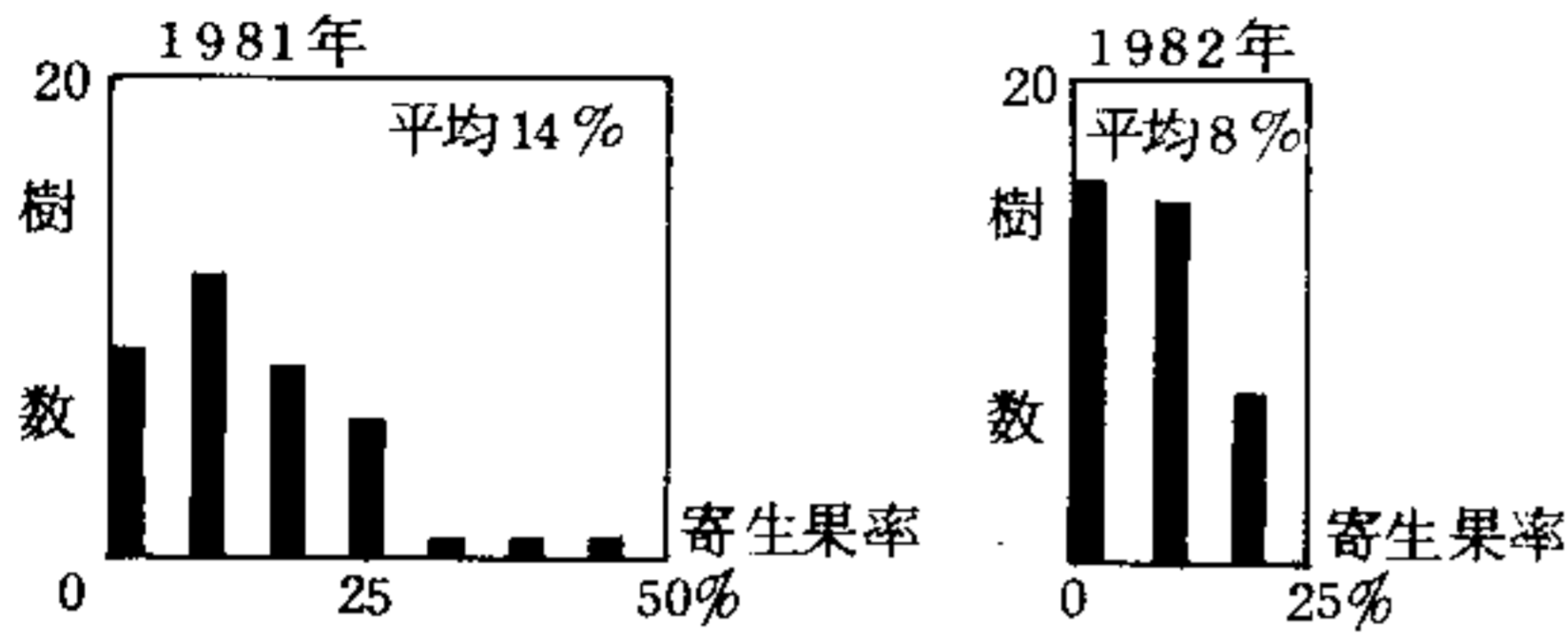
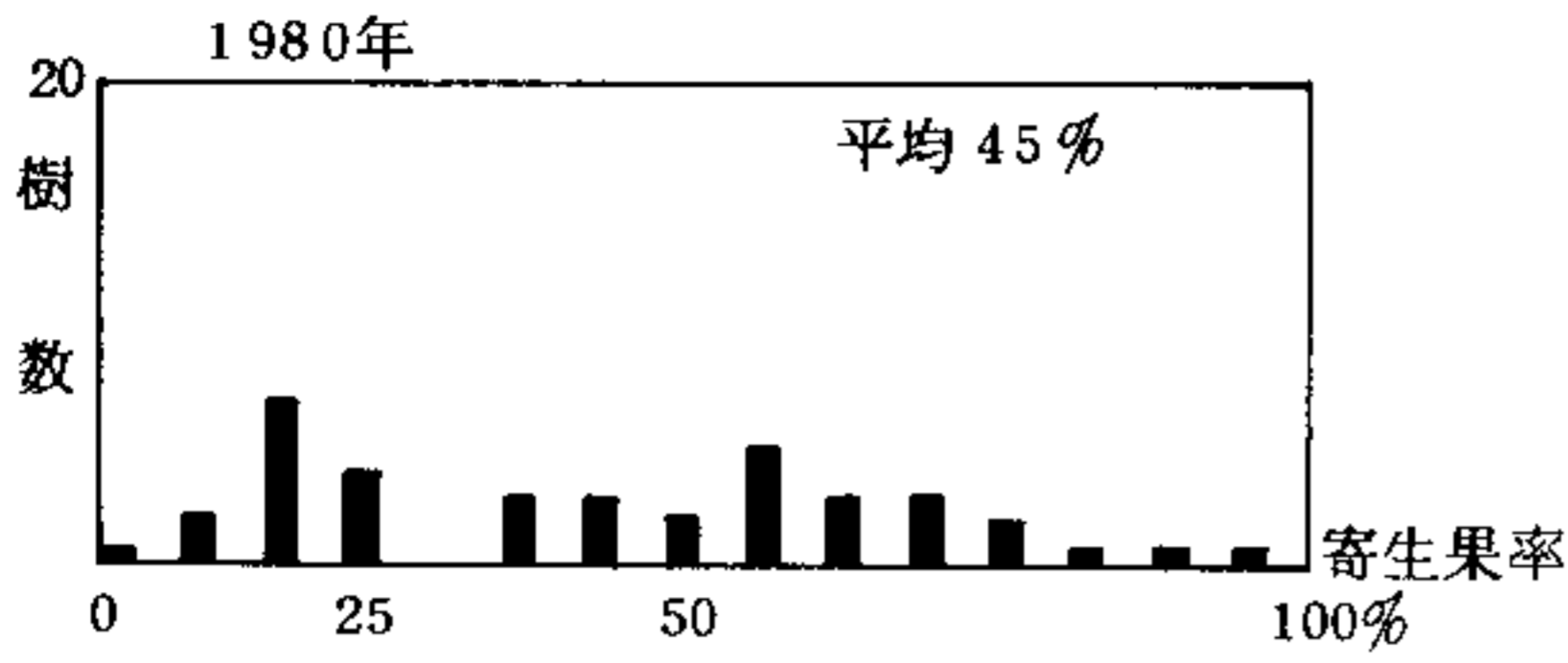
(注) A ヤノネキイロコバチ
P ヤノネツヤコバチ

(農水省果樹試験場口之津支場)



2種の寄生蜂の寄生率の変動 (農水省果樹試験場口之津支場)

成



放飼園の調査樹の寄生果率頻度分布
(農水省果樹試験場口之津支場)

績

ヤノネキイロコバチ放飼園におけるヤノネカイガラムシの寄生密度
及びヤノネキイロコバチの寄生率の変動

概

調 査 月 日	ヤノネカイガラムシ		被 捕 食 率 ²⁾ (%)	寄 生 率 (%)
	平 均 密 度 ¹⁾	生 存 虫 密 度 ¹⁾		
年 月 日 1981・11・18	16.47	16.38	—	0.61 ³⁾
1982・5・10	8.29	2.82	63.29	2.07
8・9	3.74	3.59	4.92	7.07
12・27	3.01	2.56	6.38	8.72

- (注) 1) 雌成虫及び未成熟成虫
2) ヒメアカホシテントウによる捕食
3) ヤノネキイロコバチ羽化成虫を含む

(長崎果試)

要